

# あいち農産物生産流通レポート

平成31年3月号

	ページ
◎ 情報サロン ・「守口大根を収穫して守口漬を漬けてみる体験隊」 ツアーを実施しました	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス ・「豊田・加茂菜の花プロジェクト」の活動について	(豊田加茂農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報 ・春期のキャベツの動向について	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報 ・あいち型植物工場の取組と普及状況について	(園芸農産課) 6
◎ フラワーページ ・フラワーバレンタインプロモーションについて	(園芸農産課) 7
・かがり弁ぎくが関東東海花の展覧会で入賞。評判も上々	(東京事務所) 8
◎ 青果 ・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	10
◎ 花き ・切り花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	22

## 内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農業物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## 「守口大根を収穫して守口漬を漬けてみる体験隊」ツアーを実施しました

園芸農産課

守口大根は、直径2cm、長さは120cmにもなる細くて長い「あいちの伝統野菜」です。この守口大根を材料にして、足かけ3年じっくりみりん粕等に漬けた守口漬は、愛知県特産の高級漬物です。

愛知県は、野菜生産額が全国第6位ですが、野菜摂取量は全国最低レベル（男性47位、女性45位）にあります。野菜は調理に手間がかかると言われますが、漬物ならそのまま食べられて簡単に野菜をとることができます。そこで、野菜の消費拡大と守口大根のPRを兼ねて、生産量の全てが漬物会社で加工されるため市場には全く出回らない守口大根を収穫し、漬物にするツアーを開催しました。

### 1 体験隊ツアーの概要

本ツアーは、農林水産省の「地域の魅力再発見食育推進事業」を活用して実施し、愛知県内在住又は在勤の方を対象に参加者を募集しました。参加者の方には、守口大根や守口漬のPRのため、体験ツアーの様子を発信いただくことをお願いしました。

開催日：平成31年1月26日

場 所：丹羽郡扶桑町

内 容：守口大根収穫体験、漬物体験など



ツアー参加者の皆さん

### 2 守口大根の収穫体験

家族連れを中心に幅広い年齢層の20名が参加しました。バスの中で守口大根と守口漬のクイズをしながら、木曾川近くの畑へ。

扶桑町守口大根漬物組合の天野隆一組合長から説明を受け、さっそく収穫に挑戦しましたが、つい力任せに抜こうとして皆さんなかなか抜けません。それでも少しずつ揺すっているうちに、1本、また1本と収穫でき、1本抜けると周辺の土が崩れてどんどん抜けやすくなり、収穫する手が止まりません。形質の良い大根を選抜し翌年の種を採るために毎年実施している母本選抜をまねて、美人大根コンテストも行いました。

〈参加者の感想〉

- ・思っていたよりずっと長かった。
- ・すごく密集して植わっているのでおどろきました。
- ・最初は力があるけど、すうっと抜けた瞬間が快感です。
- ・細くてきれい。長年、選抜してきたからなんですね。
- ・土がさらさらなので、こんなに長い大根が作れるんだと実感しました。



畑での収穫体験

### 3 守口漬の漬物体験

守口大根の収穫体験後は、近くの（株）扶桑守口食品へ移動して守口漬の製造工程を見学しました。また、同社担当者から説明を受け、守口大根で2種類の漬物体験を行いました。ひとつはサワー漬で、収穫したての守口大根を薄切りして甘酢で漬けました。もうひとつは守口漬で、事前に酒粕に2度漬けしていた守口大根を、最終工程の味醂粕漬けをしてミニ樽に漬け込みました。作った漬物は御自宅に持ち帰って熟成していただき、サワー漬は2、3週間後、守口漬は2か月後から食べられます。

〈参加者の感想〉

- ・職人さんは簡単そうにやっていたのに難しかった。
- ・工程が多くてびっくりしました。
- ・ほんとうに手間がかかっているの、味わって食べたいです。
- ・畑でとれたものを近くですぐ加工するっていいですね。



守口大根をサワー漬用に薄切り



守口漬の仕上げ漬け

このツアーを通して、守口大根や守口漬が愛知の特産として工夫を重ねて作られていることを知っていただくとともに、体験後に実施したアンケートでは、「もっと野菜を食べようと思う」、「地域産のものを選ぶ意識が高まった」と回答いただきました。

県では、野菜摂取量の増加やあいちの伝統野菜の紹介、地域の食文化の継承を目指してこのツアーの感想を盛り込んだパンフレットを作成し、さらにPRしていきます。



守口漬・守口大根の紹介パンフレット

## 「豊田・加茂菜の花プロジェクト」の活動について

豊田加茂農林水産事務所

豊田加茂地域で菜の花エコプロジェクトを展開するNPO法人豊田・加茂菜の花プロジェクト（以下「NPO豊田」という。）が、2月からの花見シーズンを迎えて、毎年恒例となっている「菜の花キャラバン」（＝関係機関への活動報告）を行いました。

### 1 NPO豊田のこれまでの活動

「菜の花エコプロジェクト」とは、菜の花を栽培し、ナタネから油を搾り、油かすは肥料や飼料にする一方で、食用に利用したナタネ油を回収し、軽油代替燃料などに再生利用する活動で、資源循環型社会の形成を目指す取組の一つです。

平成17年に愛知県で開催された愛・地球博（2005年日本国際博覧会）は、環境をテーマとしましたが、その開会式において、菜の花エコプロジェクトが「未来プロジェクト」として紹介されるなど、プロジェクトは県内外で市民活動を中心に大きな盛り上がりを見せました。

その後、資金難により活動を縮小する団体が多い中で、NPO豊田は、遊休農地約60ha（うち菜の花を40ha栽培）を借り受けて農地の荒廃化を防止するなど、着実に活動を積み重ね地域に欠かせない存在となっています。



菜の花キャラバン  
（豊田加茂農林水産事務所にて）

### 2 NPO豊田のこれからの展開方向

これまでもNPO法人として地域市民を対象に、環境学習講座やナタネ油を使う料理教室など、持続可能な資源循環型社会を構築することを目標に活動しています。また、その活動を支える方法の一つとして、ナタネを材料にした6次産業化製品の開発も熱心に取り組んでいます。

これまでの製品として、圧搾法（添加物不使用）で搾油したナタネ油と大豆の代わりにナタネを材料とした醤油風調味料をメインに、これらを使用したポン酢や菓子類（シフォンケーキ）などが、企業とのコラボレーションにより誕生しています。これらの商品は、名古屋市や豊田市のアンテナショップ、自然食品を扱う小売店などで販売しているほか、県が毎年開催する「あいちの農林水産フェア」などのイベントにも積極的に出展しています。また、昨年はトヨタグループ企業の記念品として注文を受けるなど、販路も徐々に拡大しています。

キャラバンに当たり、NPO豊田代表の梅谷勝利氏は、「毎年、一つずつ新商品を開発する」と意気込みを語られ、NPO豊田の商品が全国展開されることが期待されます。



菜の花ギフトセット

## 春期のキャベツの動向について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会では、1月22日（火）にJA愛知みなみとJA豊橋への県内産地調査を、2月19日（火）に千葉県銚子市と神奈川県三浦市への第2回競合産地調査を実施しました。本県産キャベツの出荷期間の折り返しを前に、3月以降の出荷予測とともに円滑な供給及び販売強化に向けた産地と市場関係者との情報交換を行いましたので、その状況について紹介します。



競合産地調査（銚子市）

### 1 各県産地のこれまでの動向

本年は、8～9月のは種・定植時期に高温干ばつと台風被害を受けたことで、広範囲にわたり根傷みや塩害が発生し、定植後から間もないほ場では植え直しも行われました。このことから、当初は年末年始にかけて入荷が不安定になるとの懸念もありましたが、その後の10～11月に好天と高温が続いたことで、生育が回復・前進し、年内から年始は潤沢な入荷となりました。

年が明けると年末から続く少雨によってキャベツの肥大が停滞し、1月は小玉傾向になると同時に入荷も落ち着きました。一方で、秋の時点では台風後の植え直しの影響による端境も予測されていましたが、好天により生育が前進したため、更なる落ち込みはありませんでした。入荷量は平年に比べて少なめとなりましたが、台風と寒波により激減した昨年よりは増加しています。

単価は、年内から年始にかけては潤沢な入荷で平年より低めに推移しましたが、ここ数年が高値だったため単純な比較は難しい面もあります。年明け後は市場内に「思ったほど出てこない」という雰囲気があったものの、極端な不足感はなく緩やかに値を上げました。2月に入ると適度な雨と気温があった産地の荷が急増する場面も見られ、春の気温上昇と降雨を見据えて、単価は保合から下げ基調となっています（図1）。

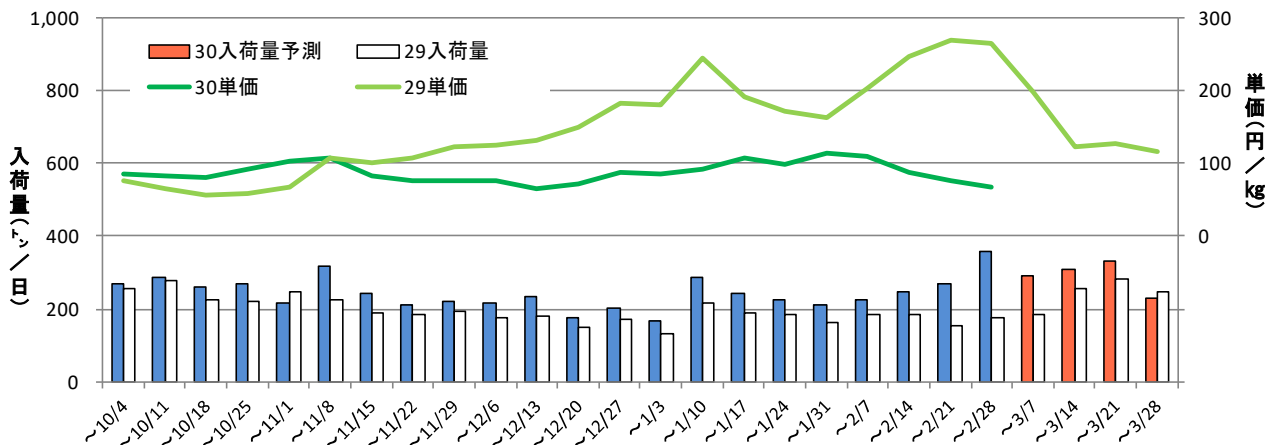


図1 キャベツの入荷量及び単価推移

## 2 今後の入荷見通し

### (1) 当面の入荷は潤沢

県内産地、競合産地ともに1月こそ少雨で生育が停滞したものの、全体的には前進傾向となっており、生育は順調と判断されています。各県産地には、すぐにでも出荷できそうなほ場、それに続くほ場が散見され、3月の入荷は平年どおり潤沢となる見込みです。今後、平年並の春らしい増加を見せ、「単価800円/ケース」が維持できるかが一つの目安となりそうです。



収穫間際のほ場（銚子市）

### (2) 関東は3月末頃に端境あるか

銚子市の産地調査では、生育が前進し収穫を前倒ししているほ場が多く、次いで4月以降に収穫期を向かえるほ場が目立ちました。逆に両者の中間となる生育状況のほ場は少なく感じられ、このまま前倒し傾向が続いた場合、関東の産地では3月末頃に一旦端境が起こる可能性もあり、単価上昇などの動きも予想されます。



小玉だが抜き切りを始めたほ場  
（銚子市）

### (3) 4月以降は植え直し分が増加

3月後半からは本県を中心に台風後に植え直した分の入荷が増加していき、4月には潤沢な入荷となることが予想されます。また、春キャベツについては各産地とも4月以降の入荷分も順調に生育しています。

### (4) 品質は各産地とも良好

競合産地調査と同日に行われた品質査定では、一部産地で外観や病害虫の指摘があったものの、「各産地とも近年になく良い品質」との結果が報告されました。このため、本県産地に対して他産地の品質が良い中で、品質面で悪目立ちしないように注意喚起がされました。



品質査定風景

## 3 販売動向

市場ではだいこんの入荷が急増したことで、露地野菜全般の生育を促す地温の上昇が予想以上に早いと考えられています。今後は一雨ごとにキャベツの入荷量も増えると見込まれており、本県産が中心となる3月は潤沢な入荷状況の中での販売となりそうです。本調査からは競合産地も極端に増減することなく入荷が続く見通しですが、研究会での卸売各社と本県産地（経済連・JA）との検討会では、例年以上に入荷が多くなる前提で今後の販売、相互の情報提供に取り組むための協議が行われました。

## 4 野菜連絡会の今後の取組

今後も会員各社や産地等による有利販売に向けた情報交換、4月の販売経過・次年度対策研究会及び7月の全体会議での課題確認を通じ、市場関係者との情報・課題の共有を進め、引き続き県関係者への情報発信を行ってまいります。

## あいち型植物工場の取組と普及状況について

園芸農産課

本県農業産出額の3割を占める施設園芸の競争力強化を図るため、平成28年度に「あいち型植物工場推進事業」を創設し、既存施設へのモニタリング装置や炭酸ガス発生装置等の導入と、生産性向上を目指す生産者のグループ活動を支援するとともに、環境制御技術について指導可能な人材の育成を図ってきました。

### 1 あいち型植物工場の普及状況

本事業は、きゅうり、いちご、トマト、きく等の主要な10品目を対象としており、事業を行った3年間で60の産地グループ、455戸の農家が取り組みました。

その結果、本県施設園芸面積の約4%に相当する76.1haにおいて、本事業を活用して「あいち型植物工場」が導入されました。

本事業は、環境制御設備等の導入にとどまらず、普及指導員を始めとした地域の技術者が同じデータを共有しながら技術改善支援を行うことが大きな特徴で、リアルタイムデータを活用した現地での意見交換など活発な研究会活動が行われています。

こうした活動の結果、技術導入した生産者の単収が平均で2割増加した産地や、厳寒期収量を約3割増加させた生産者が現れるなど、取組の成果が上がっています。



スマートフォンで施設内の環境を確認

### 2 環境制御技術に関する指導者の育成

ICT等の先端技術を活用した環境制御技術や生産技術を指導できる人材を育成するため、農業改良普及指導員や営農指導員等を対象に平成29年度、30年度の2か年で合計14回、延べ787名を対象に研修を実施しました。



タブレット端末を活用した現地指導

### 3 取組成果の普及

今後は、あいち型植物工場を導入した産地グループを拠点として、産地全体に普及を図る必要があります。

そのため、産地グループの取組成果を共有することを目的として、平成31年1月に「あいち型植物工場推進フォーラム」を開催し、環境制御技術に関する講演や産地グループの成果発表を行い、171名と多くの生産者等の参加がありました。

なお、この「あいち型植物工場」の取組は、全国知事会の先進政策バンクの優秀政策に選定され、平成29年10月16日に表彰を受け、全国のモデルとなっています。



人材育成研修の状況



## フラワーバレンタインプロモーションについて

園芸農産課

バレンタインデーは、日本では「女性から男性へチョコレートで愛や感謝を伝える日」として定着していますが、世界の多くの国では、男女がお互いに愛や感謝を伝えあう日として、メッセージカードとあわせて、花を贈ることが最もポピュラーとなっています。

そこで、一般社団法人花の国日本協議会では、バレンタインデーに男性から女性へ花を贈る文化が定着することを目指し、平成22年度から全国の花き業界で取り組んでいる全国統一キャンペーンとして「フラワーバレンタイン」を推進しています。

### 1 愛知県の取組

花の産出額が日本一の愛知県では、「フラワーバレンタイン」を新たな県産花きの需要拡大の機会と捉えて、その普及を目的に、平成23年度から花き関係団体等と「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を組織し、県産花きを用いたフラワーバレンタインの普及に取り組んでいます。また、平成26年度からは愛知県知事が参加して東京都内と県内でPRを実施しています。本年度も大村知事が参加して、東京都内及び県内で県産花きを用いたプロモーションを展開しました。

### 2 東京都内でのプロモーションについて

平成31年2月9日（土）に、東京都中央区の銀座三越9階銀座テラス内で「あなただけのスイートブーケ with あいちの花」を開催し、県産花きをPRしました。また、会場内では、愛知県出身の女性デュオ「コキリカ家」の演奏とパフォーマンス集団「花男子」によるフラワーアレンジ及び花贈りパフォーマンスを2回実施しました。うち1回は大村知事が参加し、知事が選んだ花で作成したブーケが、会場内のカップルの男性から女性へメッセージの言葉とともに贈られ大きな盛り上がりを見せるなど、東京都内で本県産花きを用いて、フラワーバレンタインをPRできました。



東京の花贈りパフォーマンス

### 3 愛知県内でのプロモーションについて

平成31年2月9日（土）から11日（月・祝）まで、名古屋市西区のmozoワンダーシティ1階イーストコート内で、県産花きフラワーギフトの販売や「花男子」による花贈りパフォーマンス、生花店の有志によるパフォーマンス集団「フラッピー758」のステージイベント、プレゼント用フラワーアレンジメントの制作体験などを実施しました。また、10日（日）には大村知事が参加して、「花男子」とともに3組の花贈りを実施し、あいちの花とフラワーバレンタインをPRしました。



名古屋の花贈りパフォーマンス

そのほかフラワーパーク江南（江南市）、蔵王山展望台（田原市）でのコラボイベントなど、様々な取組で「フラワーバレンタイン」の普及・定着を促すことができました。

## かがり弁ぎくが関東東海花の展覧会で入賞。評判も上々

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成31年2月1日（金）から3日（日）にかけて、豊島区東池袋のサンシャインシティ文化会館で第68回関東東海花の展覧会が開催されました。この展覧会では、愛知県と国の研究機関で共同開発したきくの新品種かがり弁ぎくが品評会に出展され、本県の展示ブースにおいてかがり弁ぎくの品種特性などを詳しく紹介しましたので、来場者の反応をお伝えします。

### 1 「かがり弁黄」が銅賞を受賞

かがり弁ぎくは、愛知県農業総合試験場と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が共同で開発した輪ぎくです。花卉の先端に複数の突起があるのが特徴で、華やかな雰囲気を楽しめることから、仏事需要ではなく、ブライダルなどの祝い事を始めとした新たな場面での利用が期待できます。

関係者の評価としては、白色の「かがり弁白」が、新品种コンテストであるジャパンフラワーセレクションの2018-2019切花部門秋審査会でベスト・フラワー（優秀賞）を受賞するなど、花の芸術性を高めた品種として認められています。

本展覧会で行われた品評会でも、西尾市の生産者が出品した黄色の「かがり弁黄」が、きく部門において銅賞を受賞するなど、その品質や商品性が評価されました。



受賞した「かがり弁黄」

### 2 来場者の反応

愛知県では、産地紹介コーナーでかがり弁ぎくのブースを設けたほか、展覧会初日にはかがり弁ぎくの切花を無料配布しました。来場者に花卉の特徴をお伝えすると、ブースに足を止めて見入る人や写真を撮る人が大勢いました。

来場者からは、「きくは葬式のイメージがあるが、これは華やかな印象を受ける」、「きくらしくないきくでイメージが変わった」、「かわいい」、「デザイン性がある」、「豪華に見えボリューム感もある」といった好意的な意見を多くいただき、今までのきくのイメージを打ち破る新しいあいちのブランドフラワーとしての期待がますます膨らみました。



盛況な愛知県ブース

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	403	366 (91%)	296	岐阜 (6%) 徳島 (3%)
31年見通し	400	—	280	—
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>県内の知多、稲沢、海部を中心に入荷する。2月頭から始まる促成物は若干出だしが遅れているが、入荷量は徐々に増加しており、3月は安定した入荷となる見込み。価格は今まで高め推移していたが、入荷増に伴い下降するとみられる。また、入荷物は平年に比べて細めのサイズが目立つ。                      入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>		<p>安定した販売を実現するため、1～2週間先の正確な出荷情報の提供をお願いしたい。また、生産者の高齢化等で入荷量は減少傾向にあるが、春商材として需要の高い時期でもあるため、面積あたりの収量向上等により現状の出荷量を維持してほしい。                      品質面では、暖くなる時期のため、特に雨天時等は傷みの原因となる出荷物の濡れに注意をお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
30年実績	1,055	756 (72%)	308	群馬 (23%) 千葉 (2%) 岩手 (1%)
31年見通し	1,050	—	310	—
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>本県産の入荷が7割以上を占める。本県産は1～5月、10～12月に入荷し、3、4月と12月にピークを迎える。昨秋から今冬にかけて暖冬傾向で推移したことから、必要な低温を中々得られず生育はやや遅れ気味となっている。3月上旬には入荷量も回復し、3、4月の需要期を迎えると見込まれるが、春筍が裏年となることから、需要喚起が重要な年となる。                      入荷量は前年並となり、価格も前年並となる見込み。</p>		<p>本県産のふきは、春商材として業務だけでなく量販店からの引き合いも強い。一方、他県産を含め栽培面積は年々減少している。本年は春筍が裏年になると思われるので、ふきにとっては販売の難しい年となることが予想される。今後、春筍を使わないふき料理の提案も必要と思われる。                      市場側としても、新たな購買層の開拓、量販店へのプロモーションなどを取り組んでいきたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	26年	36,635	205	199	203	212	愛知 23%
	27年	34,806	229	219	247	223	北海道 23%
	28年	33,341	244	252	241	237	鹿児島 8%
	29年	32,937	236	236	237	231	茨城 6%
	30年	34,937	229	254	229	204	熊本 5%
	5ヵ年平均	34,531	229	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	33,600	210	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道を中心に入荷する。現在の市況は北海道が不作だったたまねぎなどを除き、安値の品目が目立つ。暖冬傾向に加え降雨もあり、3月も順調な入荷を見込む品目が多く、全体では安値相場が続くか。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	26年	1,619	78	80	80	77	千葉 43%
	27年	1,756	86	88	84	93	静岡 27%
	28年	1,593	101	91	100	114	徳島 8%
	29年	1,508	102	99	98	113	神奈川 8%
	30年	1,823	124	176	114	92	鹿児島 6%
	5ヵ年平均	1,659	99	108	95	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,700	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、静岡を中心に入荷する。生育順調で暖冬のため前進化しており、切り上がりは若干早いとみられる。4月から出てくる愛知の春だいこんも順調で、例年より7～10日ほど生育が早いとの声も聞かれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	26年	1,971	148	147	141	132	愛知 57%
	27年	1,907	119	90	122	142	徳島 32%
	28年	1,822	122	103	124	138	鹿児島 5%
	29年	1,787	167	156	167	175	千葉 3%
	30年	1,138	244	218	250	272	茨城 1%
	5ヵ年平均	1,725	153	136	153	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,800	130	120	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、愛知を中心に入荷する。前年は徳島の生育が遅れ、愛知産が遅い時期まで入荷したが、今年は徳島が前進しており、愛知の切り上がりが早まる予想。生育状況は両産地ともに順調。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	26年	131,404	234	238	233	230	千葉 16%
	27年	129,212	256	250	260	257	愛知 12%
	28年	123,552	277	275	273	281	茨城 11%
	29年	127,734	261	253	263	266	北海道 10%
	30年	130,737	259	286	243	245	神奈川 6%
	5ヵ年平均	128,528	257	—	—	—	
	31年見通し	130,000	230	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
だいこん	26年	13,866	68	76	65	63	神奈川 50%
	27年	13,301	80	87	73	77	千葉 47%
	28年	11,524	94	80	87	113	鹿児島 3%
	29年	12,181	94	94	87	98	
	30年	12,250	116	169	105	82	
	5ヵ年平均	12,624	90	101	83	86	
	31年見通し	12,000	95	90	90	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
にんじん	26年	7,326	149	151	145	152	千葉 54%
	27年	7,397	111	95	112	123	徳島 13%
	28年	7,774	116	105	122	121	埼玉 8%
	29年	7,404	179	183	181	175	茨城 8%
	30年	6,034	197	179	203	212	鹿児島 4%
	5ヵ年平均	7,187	148	141	150	154	
	31年見通し	7,800	110	90	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	2,196	76	71	81	68	長崎 32%
	27年	2,369	89	76	107	89	兵庫 24%
	28年	1,894	116	105	126	120	茨城 19%
	29年	2,033	124	103	121	151	愛知 11%
	30年	2,079	133	156	121	116	熊本 11%
	5ヵ年平均	2,114	107	101	110	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,000	85	80	95	85	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長崎、兵庫、茨城などから入荷する。2月現在も1月からの安値が継続している。各産地とも生育良好で、今後も順調な入荷が見込まれ、3月も引き続き厳しい販売が予想される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キャベツ	26年	4,328	85	105	78	102	愛知 95%
	27年	4,815	71	69	75	73	鹿児島 1%
	28年	4,576	76	79	73	80	兵庫 1%
	29年	3,714	115	120	112	118	三重 1%
	30年	4,010	128	185	118	102	中国 1%
	5ヵ年平均	4,289	93	109	90	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	4,000	85	85	85	85	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知主体の入荷となる。2月前半は平年よりやや少ない入荷だが、前年の不作の影響から加工業者が他県産や中国産を入れ、価格が低迷した。3月は業務用の寒玉は多くないが、春系は順調で数量増を見込む。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	26年	427	309	307	349	413	愛知 67%
	27年	339	488	443	547	502	茨城 23%
	28年	301	545	622	460	569	岐阜 3%
	29年	372	387	333	414	437	徳島 2%
	30年	489	350	374	319	373	群馬 2%
	5ヵ年平均	386	403	402	406	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	450	400	350	400	450	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は豊作基調。これまでの前進傾向で、減収予想もあったが、暖冬に降雨もあり潤沢な入荷が続く。3月は露地物が若干減少するが、平年以上の入荷を見込む。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	26年	8,960	69	67	68	75	茨城 45%
	27年	8,213	75	59	85	83	兵庫 28%
	28年	6,638	110	80	126	128	長崎 10%
	29年	7,238	130	99	127	175	群馬 8%
	30年	7,959	135	159	122	113	埼玉 2%
	5ヵ年平均	7,802	102	92	103	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	7,800	50	50	50		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、兵庫からの入荷が中心となる。主力の茨城が終盤となるも、病害虫、雨ともに少なく正品率・歩留まりが良い。在庫は豊富。荷動きの鈍さも手伝い、価格は高騰した前年の半値以下、平年も下回る予想。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キャベツ	26年	16,813	97	103	89	101	愛知 68%
	27年	19,246	76	67	77	84	千葉 18%
	28年	16,826	90	87	87	96	神奈川 11%
	29年	17,423	124	119	124	128	中国 1%
	30年	17,665	139	183	124	118	群馬 1%
	5ヵ年平均	17,595	105	111	100	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	18,500	85	80	80	95	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、神奈川、千葉からの入荷がほとんどを占める。各産地とも干ばつを乗り越え順調な生育に加え、愛知からは台風後の植え直し分の潤沢な入荷も見込まれており、下旬までは安値が続く見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	26年	1,607	393	418	413	349	茨城 37%
	27年	1,525	462	385	529	493	群馬 26%
	28年	1,231	551	564	501	584	埼玉 15%
	29年	1,461	399	336	453	430	千葉 13%
	30年	1,722	389	382	368	421	栃木 3%
	5ヵ年平均	1,509	433	411	448	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,700	370	360	370	380	
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも干ばつの影響は少なく、生育は順調。一部の作型では遅れも見られるが、月を通して潤沢な入荷が見込まれる。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	833	360	380	385	347	大分 25%
	27年	868	327	337	340	330	静岡 18%
	28年	812	388	398	399	392	愛知 15%
	29年	741	411	416	406	412	鳥取 8%
	30年	766	424	484	413	374	群馬 6%
	5ヵ年平均	804	380	401	387	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	800	380	380	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>白ねぎは大分、静岡、鳥取などが中心となり、2L中心の安定した入荷を見込む。愛知の普通ねぎは病害や葉の曲がりなどもなく作柄良好で、順調な入荷予想。越津ねぎは徐々に入荷が減少する見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ぎ							
し	26年	1,744	188	202	192	186	茨城 36%
	27年	1,784	244	237	257	237	兵庫 31%
	28年	1,617	293	353	264	277	静岡 9%
	29年	1,813	198	184	212	205	熊本 8%
	30年	2,086	182	231	154	162	長崎 6%
	5ヵ年平均	1,809	218	239	213	211	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,900	190	200	190	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に静岡、熊本などから入荷する。2月前半は安値が続く。3月は現在の兵庫に加えて茨城の春レタスも順調に出てくる見通し。暖冬傾向の中で、全体的に順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>					
ス							
き	26年	1,420	283	307	305	266	愛知 62%
	27年	1,285	376	441	412	310	高知 16%
	28年	1,445	309	329	320	298	宮崎 12%
	29年	1,450	268	280	284	250	鹿児島 6%
	30年	1,582	285	293	291	272	群馬 4%
	5ヵ年平均	1,436	302	327	320	278	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,450	285	320	280	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に高知、宮崎などの西南暖地から入荷する。全国的に作柄良好で、3月は順調な入荷を見込む。愛知は病虫害も少なく、日照があれば例年どおり順調に増量していく見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
う							



東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	26年	4,737	348	393	340	312	千葉 42%
	27年	4,697	302	307	307	291	埼玉 20%
	28年	4,722	365	355	382	359	茨城 12%
	29年	4,493	382	385	382	379	群馬 5%
	30年	4,562	420	508	407	344	中国 5%
	5ヵ年平均	4,642	363	389	363	337	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	4,600	340	340	340		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。概ね生育は順調で前年並の入荷が見込まれているが、太物・細物の比率は各産地まちまちとなる。春作は例年通り3月下旬から入荷する。 入荷量は前年並となり、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>							
し	26年	8,413	175	188	181	158	茨城 37%
	27年	7,799	233	236	243	220	静岡 22%
	28年	7,312	279	344	243	258	香川 10%
	29年	7,739	184	171	191	193	兵庫 7%
	30年	9,702	168	221	136	147	福岡 5%
	5ヵ年平均	8,193	205	230	195	192	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	9,500	170	160	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に静岡、香川などからの入荷となる。全体では気温高により前進傾向となるが、一部では干ばつによる遅れも報告されており、大きく増減することなく緩やかな春の増加となるか。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
きゅう	26年	5,822	317	349	331	280	群馬 26%
	27年	5,715	402	478	423	327	宮崎 19%
	28年	6,593	336	349	352	316	埼玉 16%
	29年	6,556	283	291	292	273	千葉 15%
	30年	6,760	307	313	307	300	茨城 10%
	5ヵ年平均	6,289	327	353	339	299	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	6,600	320	380	290	290	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬、宮崎、埼玉、千葉などからの入荷が中心となる。九州は作付け減や植え替えにより入荷少ない。上旬は価格堅調となるも、中旬以降は北関東を中心とした入荷増により価格は下がる見通し。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	26年	691	332	384	331	332	熊本 48%
	27年	624	401	418	410	387	愛知 47%
	28年	703	391	398	396	384	高知 5%
	29年	612	394	413	407	377	
	30年	617	415	435	425	393	
	5ヵ年平均	649	385	409	392	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	610	395	400	400	390	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本の長なすと愛知の千両なすが中心となる。両県ともに生育良好で、気温の上昇とともに順調に増量していくとみられる。また、暖かくなると需要が増え、荷動きも良くなるか。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
ト	26年	1,227	359	385	359	337	熊本 52%
	27年	1,100	484	501	506	451	愛知 27%
	28年	1,056	494	469	503	504	三重 10%
	29年	1,274	339	339	341	341	岐阜 10%
	30年	1,451	319	340	312	308	高知 1%
	5ヵ年平均	1,222	391	400	395	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,250	340	330	340	350	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。長期獲りは小玉傾向で箱数も少ない。熊本は前年の安値から入荷減となるか。愛知は成り疲れや苗の植え替えにより2月から3月上中旬にかけては入荷が減少する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
ニ	26年	392	655	683	645	658	熊本 53%
	27年	388	882	887	923	833	愛知 31%
	28年	378	989	1,036	1,023	925	和歌山 7%
	29年	421	739	783	758	709	宮崎 7%
	30年	536	655	705	652	620	長野 2%
	5ヵ年平均	423	773	809	788	738	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	400	700	700	750	650	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。気温上昇に伴い中旬から増量するが、量販店が春商材として売り込む動きもあり、消費も拡大するか。愛知は成り疲れが中旬まで尾を引く見通し。その後は数量増を見込む。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	26年	2,988	380	423	378	351	高知 60%
	27年	2,759	452	461	470	428	福岡 17%
	28年	2,932	461	451	487	451	熊本 7%
	29年	3,228	430	453	430	414	佐賀 4%
	30年	2,778	465	491	462	444	栃木 3%
	5ヵ年平均	2,937	437	455	444	417	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,700	440	440	440		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。天候に恵まれ概ね生育は順調だが、一部産地では豊作の反動により一時的な草勢低下や病害虫による入荷減も懸念されている。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	26年	6,613	381	414	377	358	熊本 33%
	27年	5,883	514	538	533	479	栃木 25%
	28年	5,806	520	485	535	537	愛知 11%
	29年	6,750	372	368	378	371	千葉 5%
	30年	6,939	356	372	351	344	静岡 4%
	5ヵ年平均	6,398	423	431	429	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	6,600	370	380	370	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知などからの入荷が中心となる。熊本を中心に小玉傾向で入荷しており、上旬までは入荷量も落ち着いたものとなる。中旬以降は各産地とも量が出揃い増量が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	26年	1,643	602	650	617	550	熊本 39%
	27年	1,446	863	879	923	793	愛知 19%
	28年	1,470	984	1,065	998	920	宮崎 16%
	29年	1,728	662	690	684	628	千葉 7%
	30年	1,966	600	651	592	562	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,651	728	773	747	678	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,000	630	680	620	590	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。昨秋のスポット的な天候不良が要因となる一時的な着果不良は概ね改善し良好な状態。例年通り中旬以降には増加が見込まれ最盛期に向かう。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	520	530	662	625	584	鹿児島 45% 宮崎 39% 高知 16%
	27年	458	676	685	669	654	
	28年	544	622	686	632	560	
	29年	632	432	489	472	390	
	30年	567	516	619	539	432	
	5カ年平均	544	547	622	580	514	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	580	500	600	500	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。生育状況は順調。気温が上下するため、大幅な増量はないものの、平年を上回る入荷を見込む。中下旬からは茨城の出荷も始まり、価格は少し下がってくるか。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
じゃがいも	26年	3,219	130	136	137	113	鹿児島 60% 北海道 39% 長崎 1%
	27年	2,893	179	155	202	188	
	28年	2,686	238	221	242	255	
	29年	2,833	232	242	241	222	
	30年	3,017	127	139	132	113	
	5カ年平均	2,930	179	176	188	175	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	2,900	125	130	125	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、北海道が中心となる。北海道は不作で平年よりやや少ない見込み。鹿児島の新じゃがいもは、奄美産が暖冬により生育順調で、2月下旬から3月上旬にピークを迎える見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並だが平年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	6,808	118	145	142	120	北海道 90% 静岡 8% 愛知 1% 中国 1%
	27年	6,696	99	110	104	93	
	28年	6,691	84	86	88	85	
	29年	6,805	100	100	108	98	
	30年	7,249	99	99	109	94	
	5カ年平均	6,850	100	108	110	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	6,500	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道中心に静岡、愛知から入荷する。北海道の貯蔵物は前年より少ない見通し。新たたまねぎは静岡がピークを迎え、順調な入荷を見込む。愛知も前年は生育遅れ等で減少したが、今年は大玉傾向で順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	26年	1,840	517	621	564	408	宮崎 36%
	27年	1,556	681	687	686	671	茨城 35%
	28年	1,885	621	669	647	566	高知 16%
	29年	2,126	468	490	484	443	鹿児島 12%
	30年	1,959	552	629	554	482	
	5ヵ年平均	1,873	561	614	581	507	
	31年見通し	1,900	530	550	540	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、高知の西南暖地に加え茨城からの入荷が増える。一部で不安定な出荷が予想されるも十分回復可能な上、大方の産地は例年通りの増加を見せるため総体では平年作並の予測となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。</p>					
白菜	26年	8,885	121	120	123	121	北海道 57%
	27年	7,727	159	151	162	162	鹿児島 41%
	28年	6,692	216	200	217	233	長崎 2%
	29年	7,493	225	226	231	221	
	30年	7,767	112	120	112	103	
	5ヵ年平均	7,713	163	161	166	164	
	31年見通し	7,100	100	100	100	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島中心の入荷となる。主力の北海道は昨年6月の天候不順から貯蔵量が少なく、平年の8割程度の入荷見込み。しかし小売の在庫が多いなど、荷動きを促す環境には厳しい面もある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	26年	10,751	147	144	147	149	北海道 75%
	27年	11,546	115	125	112	110	静岡 13%
	28年	12,722	95	96	99	92	長崎 6%
	29年	12,197	129	122	129	134	中国 4%
	30年	11,078	126	124	129	127	佐賀 2%
	5ヵ年平均	11,659	122	121	122	122	
	31年見通し	10,600	140	140	140	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、静岡などからの入荷となる。北海道の不作で総量が少ない状況が続く中、静岡は干ばつで停滞していた生育が回復し入荷はピークを迎える。昨年8月から続いた単価高は緩やかに収束する方向に。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	9,208	361	356	351	358	青森 20%
	27年	8,566	389	385	393	386	フィリピン 18%
	28年	7,322	454	460	449	455	愛媛 14%
	29年	7,427	426	391	429	433	愛知 9%
	30年	7,331	423	427	431	423	熊本 9%
	5ヵ年平均	7,971	408	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	7,500	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごなどが主な品目となる。暖冬により全体的に前倒し傾向。かんきつ類は前進出荷もあり、デコポンなどの一部を除き、入荷量はやや少なめ～前年並予想となる品目が多い。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は平年をやや下回る見込み。						
りんご	26年	1,794	306	310	308	279	青森 99%
	27年	1,941	309	307	310	317	岩手 1%
	28年	1,752	342	342	349	349	
	29年	1,764	283	290	279	277	
	30年	1,449	334	337	330	340	
	5ヵ年平均	1,740	314	316	314	311	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,600	280	280	280	280	
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森からほぼ全量を入荷する。中心品種のサンふじの貯蔵物は前年より多く、安定した入荷を見込む。品質面は傷果や擦れ果などの下級品が多く、在庫もあることから、価格は平年より安値となるか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
いちご	26年	1,438	887	922	902	899	愛知 60%
	27年	1,155	1,098	1,206	1,208	936	熊本 22%
	28年	1,080	1,200	1,416	1,178	1,044	鹿児島 7%
	29年	1,050	1,163	1,158	1,191	1,150	佐賀 4%
	30年	1,002	1,178	1,135	1,171	1,232	三重 2%
	5ヵ年平均	1,145	1,090	1,153	1,116	1,038	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	1,050	1,150	1,150	1,150	1,150	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。3番果の出荷時期となるが、大きなピークはなく緩慢な入荷が続く見通し。愛知の入荷量は前年並を見込み、平年に比べてやや少ないか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	26年	35,429	389	388	385	395	青森 20%
	27年	33,242	436	418	442	449	愛媛 17%
	28年	30,808	502	498	492	515	フィリピン 8%
	29年	32,767	462	454	454	475	熊本 8%
	30年	30,633	491	502	477	493	栃木 7%
	5ヵ年平均	32,576	454	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	32,000	460	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	りんご、かんきつ類、いちごを中心に入荷する。かんきつ類は開花早く生育も順調で早めの展開が続き、3月はその反動で下旬にかけて数量減か。他の品目も、気温上昇による生育や入荷の前進が予想される。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
りんご	26年	6,017	294	295	294	293	青森 98%
	27年	7,203	297	288	297	302	長野 1%
	28年	6,903	329	320	331	334	
	29年	7,655	266	268	270	258	
	30年	6,322	328	322	331	331	
	5ヵ年平均	6,820	302	298	304	302	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	7,200	300	300	300	300	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	サンふじは少なかった前年と比べて入荷量が大幅に増加する見込みだが、台風による傷果等で下位等級品の比率が高まる見込み。一方、ジョナゴールドや王林の入荷は減少が見込まれる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
いちご	26年	6,008	968	1,027	993	898	栃木 41%
	27年	5,157	1,176	1,280	1,232	1,055	福岡 19%
	28年	5,344	1,238	1,346	1,259	1,147	茨城 10%
	29年	5,252	1,209	1,209	1,207	1,212	佐賀 8%
	30年	5,339	1,226	1,228	1,210	1,237	静岡 8%
	5ヵ年平均	5,420	1,158	1,213	1,175	1,105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	31年見通し	5,300	1,230	1,250	1,230	1,210	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木や茨城中心にとちおとめ、福岡からあまおう、佐賀からさがほのかなどが入荷する。各品種ともに2月は曇雨天や低温で2番果の入荷が少なくなったが、3月半ばには3番果が入荷ピークとなる見込み。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。						

# 切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月28日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	26年	2, 1 2 7	5 6		
		27年	2, 0 3 6	5 9		
		28年	1, 9 8 6	6 1		
29年		2, 0 2 3	5 8			
30年		1, 9 6 0	5 6			
5ヶ年平均		2, 0 2 6	5 8			
31年見通し		1, 9 0 0	5 8			
く	概要	愛知、沖縄を中心に入荷する。沖縄は昨年台風やその後の天候不順の影響で平年よりも少ない見込み。生育は概ね順調。				
小 ぎ	実績	26年	2, 6 4 0	2 4		
		27年	2, 4 3 8	3 3		
		28年	2, 3 6 5	3 6		
29年		2, 3 6 7	3 5			
30年		2, 4 0 8	2 6			
5ヶ年平均		2, 4 4 4	3 1			
31年見通し		2, 3 5 0	3 0			
く	概要	沖縄を中心に入荷する。気温高でやや前進傾向にあるが、生育は順調。中旬にかけて、彼岸需要で引き合いは強くなる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	26年	1, 4 3 3	4 4		
		27年	1, 2 9 0	5 1		
		28年	1, 1 3 0	5 9		
29年		1, 4 9 9	4 6			
30年		1, 6 2 7	3 8			
5ヶ年平均		1, 3 9 6	4 7			
31年見通し		1, 5 0 0	4 5			
く	概要	愛知、和歌山、長野などから入荷する。前年は1、2月に抑制されていた物が集中して単価を下げたが、今年は年明けからずっと安定出荷しており、彼岸までは数量があっても下旬は少し品薄になる見込み。全体を通して前年よりも少なめの単価高で推移する。				
か す み	実績	26年	2 1 9	9 7		
		27年	2 7 2	7 8		
		28年	1 9 1	1 0 2		
29年		2 4 2	8 1			
30年		2 5 3	6 8			
5ヶ年平均		2 3 5	8 4			
31年見通し		2 4 0	8 0			
く	概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。やや前進した出荷で中旬以降かなり量が減少する。一般需要がかなり強くなる見込みで、相場はやや高めで動くと思われる。				



単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	26年	353	182	
		27年	325	200	
		28年	295	214	
		29年	368	168	
		30年	317	177	
	5ヶ年平均	332	187		
31年見通し	320	180			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知などから順調に入荷する。鉄砲は高知、九州からの入荷でやや前進気味。15日以降は急激に減少することもある。LAは埼玉、高知からの入荷となる。順調な生育で入荷も前年並。相場は中値安定し、中旬以降上がる予定。</p>				
洋らん	実績	26年	529	77	
		27年	537	77	
		28年	579	73	
		29年	503	82	
		30年	443	85	
	5ヶ年平均	518	79		
31年見通し	500	85			
概要	<p>徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷する。前年に比べ暖かく、国産、輸入とも前進傾向。卒業、歓送会需要で動きもよくなり、堅調な動きが見込まれる。</p>				
ばら	実績	26年	916	98	
		27年	986	86	
		28年	938	89	
		29年	1,072	83	
		30年	898	82	
	5ヶ年平均	962	88		
31年見通し	900	82			
概要	<p>愛知、三重、岐阜を中心に入荷する。多少前進傾向で推移しており、入荷量も安定して増える見込み。前年と同様の入荷を期待している。需要もイベントがらみの注文があるなど、堅調な相場で推移すると思われる。</p>				
枝も	実績	26年	1,871	39	
		27年	1,732	42	
		28年	1,656	44	
		29年	1,437	43	
		30年	1,519	49	
	5ヶ年平均	1,643	43		
31年見通し	1,500	48			
概要	<p>静岡、長野を中心に入荷する。気温が高めで、花物は前進している。卒業式、歓送迎会などで使用する花材は引き合いが強くなる見込み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	26年	7,406	347	
		27年	4,811	406	
		28年	1,382	464	
		29年	6,743	306	
		30年	3,204	308	
	5ヶ年平均		4,709	349	
	30年見通し		3,000	317	
概要	<p>早出し出荷の価格下落に伴い、入荷量は年々減少傾向。埼玉は前年より作付増で5号鉢中心の出荷となる。また、長野は前年並で3.5号ポットのみのお荷となる。価格は入荷量の減少に伴い安定する予想。大輪のピンク・黄色の引き合いが変わらず強い。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(37.0%)、2位埼玉(32.5%)、3位長野(28.5%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	26年	36,372	3,516	
		27年	30,961	4,064	
		28年	33,658	3,922	
		29年	34,518	3,580	
		30年	30,161	3,643	
	5ヶ年平均		33,134	3,737	
	30年見通し		30,000	3,633	
概要	<p>入荷量は前年並の予想。前年からの宅配運賃の値上がりにより年度末需要が減っているように思われるが、1年間で売れる月なので出荷はできるだけ多くお願いしたい。上中旬はミディー系、中下旬は大輪系の動きが良くなる予想。年度末需要は20日からの約2週間のため、できるだけその時期に出荷をしていただきたい。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(53.5%)、2位静岡(7.4%)、3位宮崎(6.0%)となっている。</p>				
バラ	実績	26年	76,351	251	
		27年	68,327	248	
		28年	71,715	217	
		29年	67,441	196	
		30年	64,216	187	
	5ヶ年平均		69,610	221	
	30年見通し		64,000	188	
概要	<p>入荷量は概ね前年並か。気温の上昇とともに中旬以降に入荷増となる見込み。価格は安値安定が続いているが、品質・咲き前にこだわった商品の出荷をお願いしたい。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(53.9%)、2位岐阜(40.1%)、3位愛媛(5.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	26年	85,066	223	
		27年	82,681	246	
		28年	82,645	223	
		29年	85,668	201	
		30年	80,739	218	
	5ヶ年平均		83,360	222	
	30年見通し		75,000	213	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少するか。中旬は卒業式需要を見込んだ作付があるものの、上旬と下旬は品薄になることが見込まれる。 前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(24.7%)、2位奈良(17.7%)、3位埼玉(12.2%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	26年	86,332	160	
		27年	85,687	174	
		28年	96,804	178	
		29年	91,370	181	
		30年	103,451	174	
	5ヶ年平均		92,729	174	
	30年見通し		103,000	175	
概要	<p>入荷量は前年並か。鉢サイズ別に入荷もほとんど変わらない見通し。温暖な気候のために開花が早まり、全体として出荷が前倒しになる見込み。春が早いという長期予報から、つられて市況も良くなることが期待できる。 前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(25.7%)、2位静岡(18.9%)、3位埼玉(15.4%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	26年	34,082	715	
		27年	32,282	759	
		28年	28,231	718	
		29年	27,041	629	
		30年	25,890	563	
	5ヶ年平均		29,505	683	
	30年見通し		23,000	550	
概要	<p>過去5年の入荷実績で分かるように、近年の販売不振による減産で入荷量はかなり減る予想。販売面も販売店の減少や卒業、入学、退職などの需要が年々下火となり、物量が減っても前年並の価格が精一杯の厳しい予想。4月上旬の年度始め需要は活発で、胡蝶蘭が使われることが多いが、6号以上の良品については需要があるとみられる。 前年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(49.7%)、2位高知(19.5%)、3位岡山(15.4%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.549  
平成31年3月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434